

# 横浜市インフルエンザ流行情報 3 号

横浜市健康福祉局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## インフルエンザが流行しています。

### 【概況】

2023 年第 2 週(1 月 9 日～1 月 15 日)の定点あたりの患者報告数<sup>※1</sup>は、横浜市全体で **5.01** と、前週の 3.23 から増加しました。

年齢別では、10 歳未満の報告が全体の 51.2%、15 歳未満の報告が全体の 70.9% を占めています。

学級閉鎖等は、第 49 週(2022 年 12 月 5 日～12 月 11 日)以降報告されており、第 2 週までで、合計 7 件(小学校 5 件、中学校 2 件)、患者数 59 人です。

今シーズン第 2 週までの市内の迅速診断キットの結果は、累計で **A 型 99.0%**、**B 型 1.0%** と、A 型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況<sup>※3</sup>では、AH3 型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症が流行しています。かからないために丁寧な手洗い<sup>※4</sup>や適度な湿度(50～60%)を保ち、うつさないために咳エチケットを徹底し、重症化予防のために予防接種を受けるなど、適切な準備<sup>※5</sup>を行いましょ

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

※2 追加報告があったため、以前お知らせした情報から報告数が更新されています。

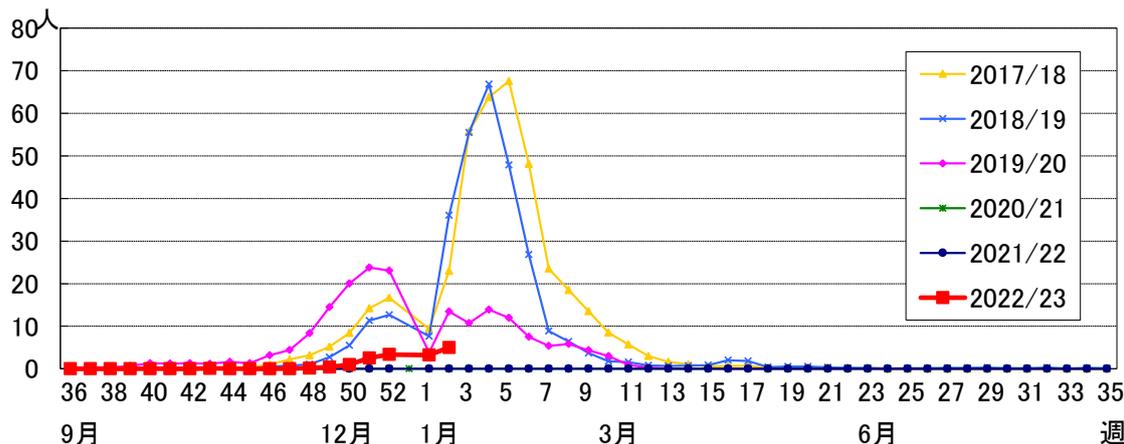
※3 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※4 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

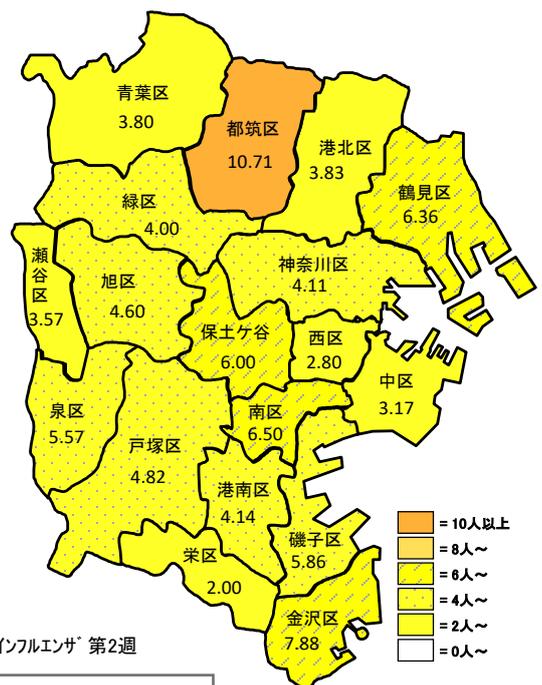
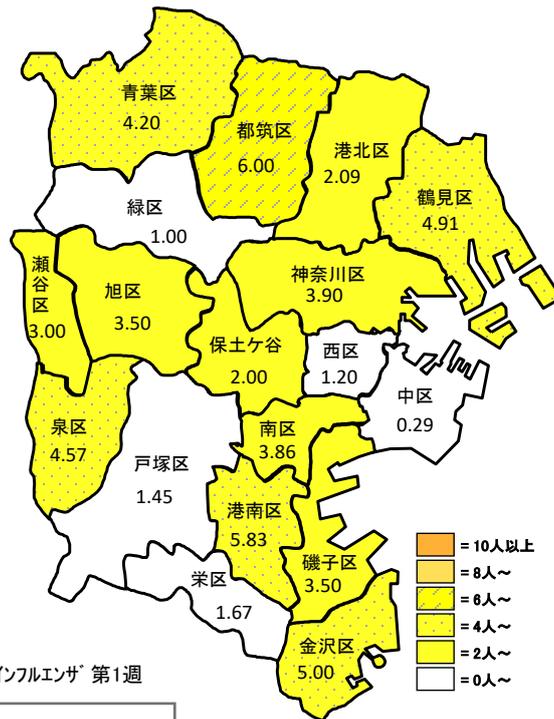
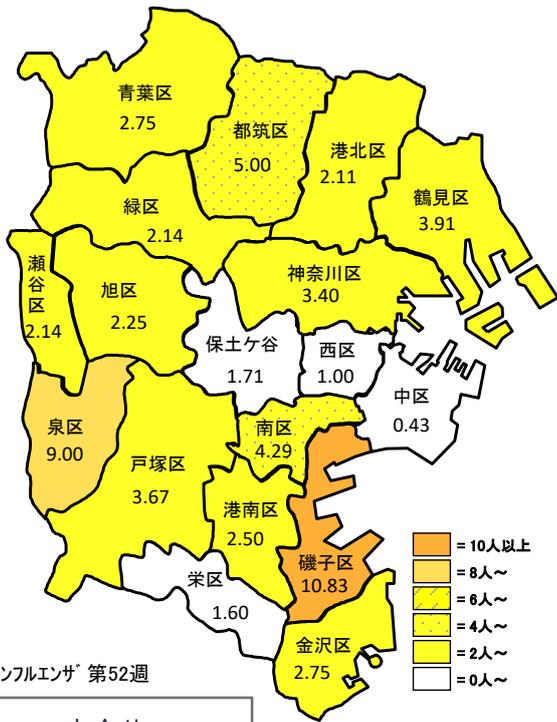
※5 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

### 【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、第 48 週は 0.15、第 49 週は 0.42、第 50 週は 0.97 と増加し、第 51 週で 2.55<sup>※2</sup> となり、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。第 2 週は 5.01 となっています。



地図で表した直近3週間の区別流行状況  
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



【参考】

直近流行(2019/20シーズンの)流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

第40週(2019年9月30日~10月6日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第49週(2019年12月2日~12月8日)

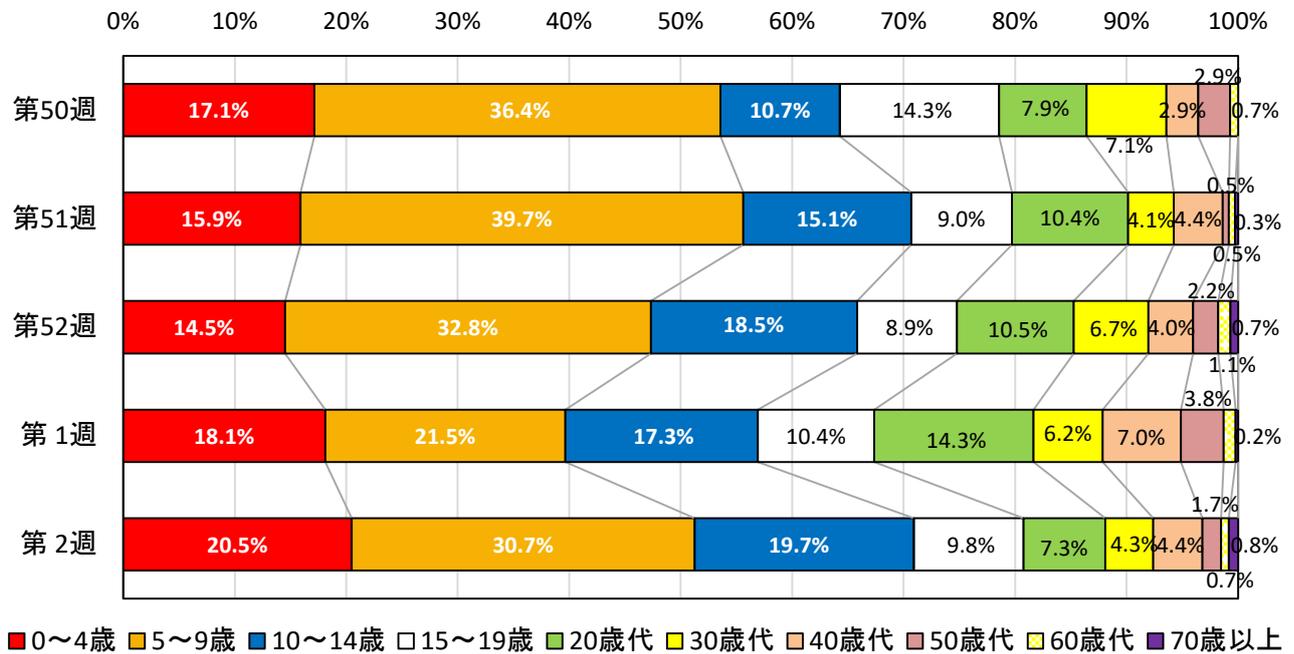
流行注意報解除【定点あたり10.00未満】

第6週(2020年2月3日~2月9日)

【年齢層別集計】

第2週の患者年齢構成は、10歳未満が51.2%、10歳から15歳未満が19.7%となっており、15歳未満が全体の70.9%を占めています。

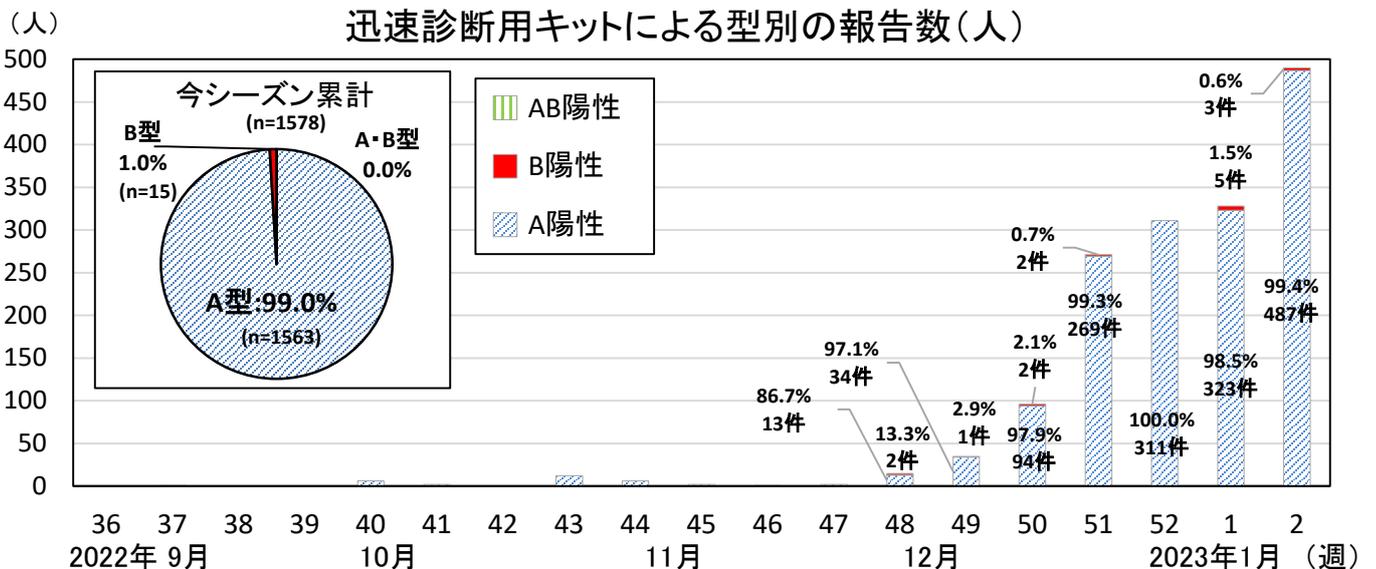
年齢層別患者割合



【迅速キット結果】

第2週の迅速キットの結果は、A型が検出されています。今シーズン累計では、A型99.0%、B型1.0%となっています。

横浜市の患者定点医療機関における  
迅速診断用キットによる型別の報告数(人)



※参考リンク

近隣自治体の流行状況

○神奈川県

○川崎市

○東京都

全国の流行状況

○国立感染症研究所

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課  
横浜市健康福祉局健康安全課

TEL 045(370)9237  
TEL 045(671)2463